

問

- ◎本気で人口を増やす気があるのか
- ◎要援護世帯への避難支援や図上訓練を
- ◎情報基盤の運営費は町の財政に大丈夫か



鈴木多津枝 議員

**質問** 若者を呼び込む取り組みで人口減少に歯止めをかけ、茶業や伝統芸能の継承を。①子育て環境が整っている徳山地区へ若者住宅建設を。遊休町有地や空き家の活用、民間賃貸住宅への家賃補助、地名若者住宅の年齢制限で退去者支援を。頑張っている町の若者たちとどんな支援が必要かなど話し合う場を。

**②** 出産祝い金増額、入学・進学祝い金創設、学校給食費を2人目半額、3人目無料など子育て支援の拡充を。③川根高校の留学生寮建設支援を。

**町長** ①新たな住宅建設は民間賃貸業者に影響する。民間賃貸家賃補助は住宅総合計画にもあり制度化を検討する。地名若者は年齢制限までに住宅建設補助金活用等で町内に居を構えて頂きたい。異業

種交流も数回やった。②結婚・出産祝い金を平成18年に増額したが出生数は増えていない。今後も様々な支援をしていきたい。学校給食費の軽減は参考にとどめる。③川高は県立なので町は側面的な支援に限られるが下宿確保や元徳山診療所改築・整備に取り組む。

**質問** 合併以後9年間で1556人減った。町は本気で人口を増やす考えがあるのか。

**町長** これをやれば全て解決と言う特効薬はない。具体的に良いということがあれば言うてもらいたい。

**教育長** 給食費無償化が即定住人口増になるかは疑問。必ず増える検証があればやるべき。



**質問** 災害に強い町づくりを。①国道362号瀬平・向井間のり面ブロック亀裂の早期改修・迂回路整備を。②避難所の安全確保、避難支援が必要な世帯の情報交換や図上訓練を。

**町長** ①平成23年から土木事務所はひずみ計を設置し観察してきた。今年度測量設計が終わり次第、工事を発注するとの話。迂回路は狭く大型車は通行できない。国道の早期復旧を県に要望し続ける。②94%が森林で地震・台風・ゲリラ豪雨による土砂災害の危険地域も多く、避難場所である集会所も一〇〇%安全とは言い切れない。日頃から住民同士の助け合いが災害時の大きな力になると考えている。

**質問** 情報基盤整備事業の運営経費は。

**町長** 電柱共架料や電波使用料等(年110

0万円)と修繕費年5百万円以外に月60万円の放送委託料、かわねフォン管理費で月1台800円、更新費用が10年後4億4千万円、20年後9億2千万円など。

**質問** 今後の財政負担に耐えられるのか。

**企画課長** 途中でやめるわけにはいかない。事業者は5年目に黒字にする計画。国へも運営補助を過疎地域で連携して要望している。



答

- 全て解決という特効薬は無い。具体的に言って欲しい
- 日頃からの助け合いが災害時の大きな力になる
- 途中でやめるわけにはいかない。国へも補助を要望している



芹澤 廣行 議員

問

◎平成26年度のシルバー人材センターの登録人数及び役員理事の構成について  
◎高齢化が進む川根本町においてシルバー人材センターへの今後の町の支援について

**質問** 平成26年度の川根本町シルバー人材センターの登録人数、及び役員構成について。

**町長** 役員は理事長以下10名、幹事2名で構成、人材センター登録者は180名となっております。

**質問** 本町シルバー人材センターに対する町の補助交付について。

**町長** 町はシルバー人材センター事業を実施するために必要な経費のうち、高齢就業機会確保事業費補助金交付要綱に定める経費を補助の対象として、川根本町補助金等交付規則及び川根本町シルバー人材センター育成事業費補助金交付要綱の定めにより交付した育成事業費補助金の金額は、平成22年度が551万9千円、平成23年度が637万4千円、平成24年度が641万6千円、平成25年度が

631万1千円となっております。

**質問** 平成26年度、静岡労働局職業安定部職業対策課高齢者対策担当より通知された川根本町シルバー人材センターへの補助金は、限度額728万円となっているが、本町の補助算定額のほうが低い理由は何か。

**福祉課長** 川根本町のシルバー人材センター育成事業費補助金交付要綱の算定式で計算すると金額は低くなります。

**質問** 川根本町の交付要綱を変更して人材センターへの補助金を増やすつもりはあるか。

**町長** 補助要綱上対応できないことは、補助要綱を変える必要があるというふうには思っておりません。

**質問** シルバー人材センターの充実には健康な町づくり、又介護、医

療費の削減にもつながることと思うが、町長の考えを伺う。

**町長** 高齢化率が高い中で、高齢の皆様がどのように過ごすか、同級生、年齢の近い方と話す中で、シルバーの仕事に行ったときは元気になると聞いています。シルバー人材センターに多くの皆様に登録していただいて、自分のこれまで築き上げた技術等を発揮していただく場所にしていくということは大変なことであり、担当課を中心として考えています。今後、担当課を中

心にシルバー人材センターとの対応を検討していくことは必要だと考えています。シルバー人材を充実することは、行政も一緒になって応援し、元気な老人を増やすという意味からも大事なセンターであるという認識は変わっていません。又人材センターの方もいろいろな場面でのPR活動をしてもらい、仕事の内容、出来る仕事・出来ない仕事を明確に町民の方々に示す必要があると考えています。

シルバー人材センターは地域の高齢者生きがい充実に貴重な役割を担っている



答

- 平成26年度の登録人数は180名、役職は理事長以下10名、2名の幹事の構成になっています
- 高齢者の雇用の場の確保、生きがいの充実など地域の活性化の活動に支援を続けていきます